



エコアクション21

株式会社 山本管工

2023 年度 環境経営レポート

(対象期間: 2022年12月1日～2023年11月30日)



第1版 発行日 2024年2月15日
第2版 発行日 2024年6月30日
発行責任者 山本真嗣

□ごあいさつ

当社は1968年(昭和43年)に管工事業を創業し、現在では滋賀県の湖南地域を中心とした上下水道工事・設備工事・土木工事・建築工事の事業を行っております。

当社が地域の環境保全活動に取り組始めたのは2010年エコアクション21導入からです。従業員の意識も変化しており環境保全活動に対して積極的に取り組んでおります。

私達を取り巻く環境も大きく変わり、地球温暖化による異常気象、自然災害の増加が危惧されており、環境に配慮した事業活動をこれからも推進してまいります。

□事業の紹介

主な事業の紹介

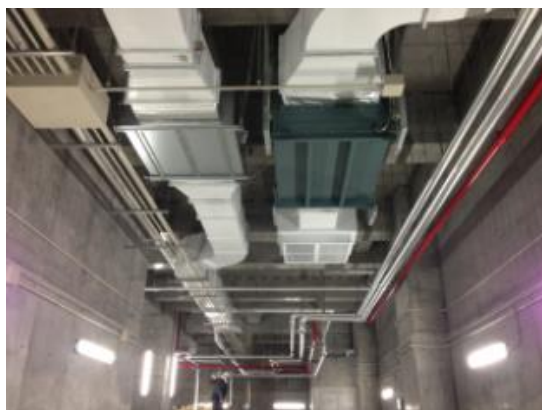
- ・一般建築業
- ・土木工事業
- ・管工事業

施工例の紹介

- ・三上こども園新築工事(機械設備)
- ・市道野洲行合線

サービスの紹介

- ・マンション、個人宅の空調・給排水修理工事



1 組織の概要

事業者名及び代表者名
株式会社山本管工
代表取締役 山本真嗣

所在地
本社 〒520-2352 滋賀県野洲市富波乙11-1

環境保全関係の責任者及び担当者連絡先(電話番号等)
環境管理責任者 代表取締役:山本真嗣
連絡先: 077-587-2256
連絡担当者 事務:山本ひろみ
連絡先: 077-587-2256

事業活動の内容(認証・登録範囲)
上下水道工事・設備工事・土木工事・建築工事

事業の規模
売上高 469 百万円/年 2023年度の売上
工事件数 1000 件/年
全従業員 10 名

事業組織

面積:㎡	本社
事務所床面積	201
倉庫床面積	105
駐車場面積	410
資機材置場面積	5,940
従業員 名	10
認証・登録	全社

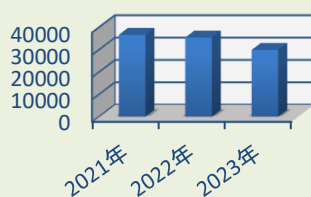
過去3年間の環境負荷の実績

	単位	2021年	2022年	2023年
二酸化炭素の排出量	kg-CO ₂	36,683	35,445	29,918
廃棄物の排出量	t	271.9	115.0	79.4
水の使用量	m ³	165	412	206
化学物質の使用量	kg	—	—	—

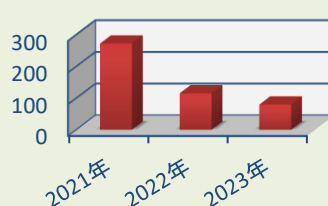
※購入電力の排出係数は、0.318kg-CO₂/kWh(関西電力2019年度調整後排出係数)とする。

※水の使用量は、事務所利用水及び建設現場での利用水の合計

二酸化炭素の排出量



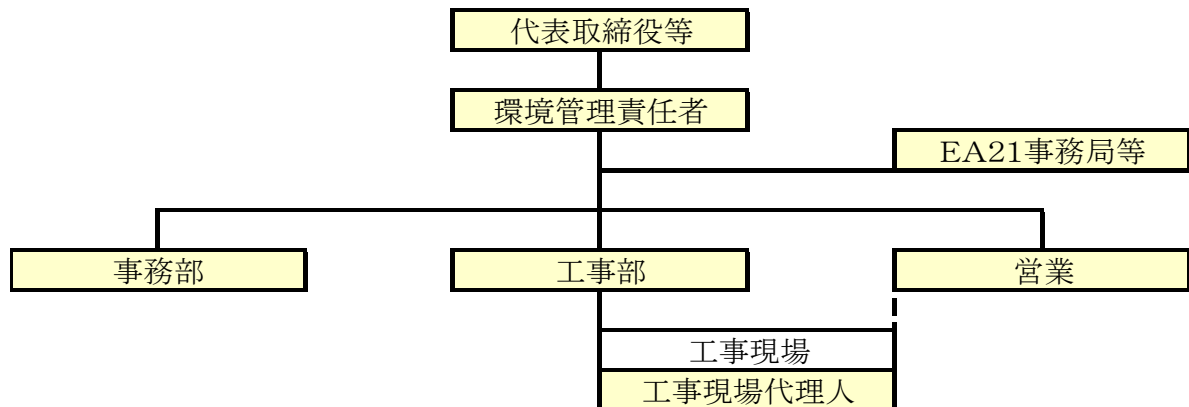
廃棄物の排出量



水の使用量



実施体制組織図・役割、責任及び権限一覧



役割、責任及び権限一覧

担 当	内 容
代表取締役	①環境経営システムに関する全ての責任と運用についての権限を持つ。
	②環境経営システムの構築・運用・管理に必要な資源を用意する。 (資源には、人材、設備、費用、時間、専門的な技能、技術を含む。)
	③環境管理責任者を任命する。
	④経営における課題とチャンスの明確化
	⑤環境経営方針の策定・見直し及び従業員への周知を行なう。
	⑥実施体制の構築
	⑦代表者による全体の評価と見直し・指示を実施する。
環境管理責任者	①環境経営システムを構築し、実施し、管理する。
	②作成された環境への負荷及び取組の自己チェックを確認し承認する。
	③法規制等の遵守状況をチェックする。
	④環境経営方針及び自己チェック等に基づき環境経営目標を設定し、作成された環境経営計画を確認し承認する。
	⑤環境経営計画の取組状況を確認し、環境経営目標の達成状況を評価する。
	⑥問題点の是正、予防処置に対する指示と改善や見直しに必要な処置を行なう。
	⑦環境経営計画の取組結果を代表者へ報告する。
各部門長及び 工事現場代理人	①責任範囲の環境経営目標及び環境経営計画の実施とEA21事務局への達成状況の報告。
	②責任範囲の問題点の発見、是正、予防処置。
EA21事務局	①環境経営システム運営のすべての事務を行なう。
	②環境への負荷及び取組の自己チェックを作成し、環境管理責任者へ報告する。
	③「環境関連法規等の取りまとめ及び遵守状況チェックリスト」を作成し、環境管理責任者へ報告する。
	④環境経営計画並びに運用手順書を作成し、実施達成状況を集計し、環境管理責任者へ報告する。
	⑤文書及び記録の管理保管。
	⑥外部コミュニケーションの窓口。
	⑦内部コミュニケーションの運営管理。
	⑧従業員に対する教育訓練の実施。
	⑨特定された緊急事態に対する項目の手順書作成、テスト・訓練・記録。
全従業員	①環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚
	②決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

株式会社 山本管工

環境経営方針

環境理念

当社は、地球規模での環境保全が人類共通の最重要課題の一つであることを認識し、事業活動において、環境に配慮した循環型社会の構築に貢献します。

行動指針

当社は、滋賀県の湖南地域を中心とした上下水道工事・設備工事・土木工事・建築工事の事業を行っています。この事業活動における環境への影響を理解し、環境経営を優先課題と位置づけて、従業員と協力し、EA21環境経営システムを構築運用し、継続的改善と汚染の予防に努め、以下の事項について自主的、積極的に取り組みます。

1. 環境関連法規等を遵守します。
2. 当社は、次の環境活動を計画的に取り組み実施します。
 - ☆ 事務所での電気使用量及び重機車両の燃料使用量を減し、CO₂の排出量を削減します。
 - ☆ 建設現場の廃棄に関して、分別を積極的に実施することにより建設リサイクルを推進します。
 - ☆ 建設現場から排水する水の汚染、汚濁を防止し、事業所での節水に努め、水の使用量を削減します。
 - ☆ 施工で使用する有害な化学物質の使用をしないよう努めます。
 - ☆ 環境に配慮した施工を推進します。
 - ☆ 環境活動の社会貢献を推進します。
3. この環境方針は全従業員に周知、徹底します。

制定日2010/ 1/7
改訂日2018/12/1
改訂日2019/12/1

代表取締役 山本真嗣

3 環境経営目標とその実績

2021年度の実績を自己チェック等により把握し、その結果を基準値として、2022年度から2024年度までの目標を下記の通り設定し、環境活動に取り組んでいます。尚、このレポートでは、2022年12月から2023年11月までの運用実績について取りまとめました。

【本社】

中長期

方針	取組項目	年度 単位	基準年 2021年	2022年		2023年		2024年	
			(実績)	(目標)	(実績)	(目標)	(実績)	(目標)	(実績)
事務所の電気使用量及び重機車両の燃料使用量を減し、CO ₂ の排出量を削減します。	電力消費量の削減 (kWh)	%		99.5%	101%	99.0%	108.1%	98.5%	-
		消費量	18,954.0	18,859.2	19,114.9	18,764.5	20,489.0	18,669.7	-
		(kg-CO ₂)	6,027.4	5,997.2	6,078.5	5,967.1	6,515.5	5,937.0	-
	ガソリン消費量の削減 (単位:L)	%		99.5%	102%	99.0%	99.1%	98.5%	-
		消費量	9,018.1	8,973.0	9,243.1	8,927.9	8,935.9	8,882.8	-
		(kg-CO ₂)	20,922.0	20,817.4	21,444.0	20,712.7	20,731.2	20,608.1	-
	軽油消費量の削減 (単位:L) 建設現場	%		99.5%	86%	99.0%	21.5%	98.5%	-
		消費量	3,306.7	3,290.2	2,848.3	3,273.7	711.3	3,257.1	-
		(kg-CO ₂)	8,531.4	8,488.7	7,348.5	8,446.1	1,835.1	8,403.4	-
	灯油消費量の削減 (単位:L)	%		99.5%	48%	99.0%	69.6%	98.5%	-
		消費量	483.0	480.6	230.5	478.2	336.0	475.8	-
		(kg-CO ₂)	1,202.7	1,196.7	573.9	1,190.6	836.6	1,184.6	-
	二酸化炭素排出量の削減 (kg-CO ₂)	%		99.5%	97%	99.0%	81.6%	98.5%	-
		(kg-CO ₂)	36,683.4	36,500.0	35,445.0	36,316.6	29,918.4	36,133.1	-
建設現場の廃棄に関して、分別を積極的に実施することにより建設リサイクルを推進します。	建設混合廃棄物の分別の推進 (単位:排出率:%/年) 建設現場	(%/年)	-	3.00	1.70	3.00	0.33	3.00	-
建設現場から排水する水の汚染、汚濁を防止し、事業所での節水に努め、水の使用量を削減します。	事務所利用水の節水 (単位:m ³)	%		99.5%	141.2%	99.0%	94.5%	98.5%	-
		(m ³ /年)	165.0	164.2	233.0	163.4	156.0	162.5	-
施工で使用する有害な化学物質の使用をしないよう努めます。	オイル吸着材の設置等の適正管理 建設現場	回以上/年	-	12.0	36.0	12.0	36.0	12.0	-
		回以上/年	-	12.0	24.0	12.0	24.0	12.0	-
環境に配慮した施工を推進します。	環境配慮施工の拡大 建設現場	(件/年)	-	30.0	32.0	30.0	32.0	30.0	-
環境活動の社会貢献を推進します。	地域の美化活動に参加する。	回以上/年	-	12	12	12	12	12	-

目標の説明や補足事項

- 1 購入電力の排出係数は、**0.318** kg-CO₂/kWh(関西電力2019年度調整後排出係数)とする
- 2 廃棄物排出量は、建設現場からの廃棄物に対してリサイクル率で管理する
- 3 水使用量については、事務所、作業所における水使用量の削減について実施する
- 4 地域の美化(美知メセナ)活動に参加。道路の植栽管理、清掃をボランティアで行う。
- 5 上記の目標のほか、作業現場の環境及び品質安全向上のために3S活動(整理、整頓、清掃)に取り組む

電力消費量の削減
(kWh)



ガソリン消費量の削減
(単位:L)



二酸化炭素排出量の削減
(kg-CO₂)



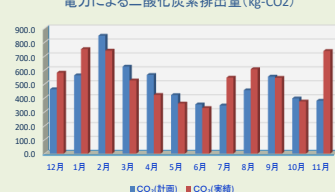
軽油消費量の削減
(単位:L)
建設現場



灯油消費量の削減
(単位:L)

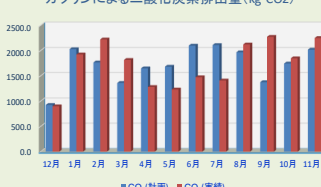


環境経営目標の未達成項目の月間変動
電力による二酸化炭素排出量(kg-CO₂)



エアコン使用時の目標未達が見られる

ガソリンによる二酸化炭素排出量(kg-CO₂)



目標未達はランダムで、業務量の変動が要因

4 環境経営目標及び環境経営計画の取組結果と評価、次年度の環境経営目標及び環境経営計画

方針	取組項目	環境経営目標・環境経営計画の年間達成状況・実施状況の評価					次年度			責任部門
事務所で の電気使用 量及び重機 車両の燃料 使用量を減 し、CO ₂ の 排出量を削 減します。	電力消費量 の削減 (kWh)	数値 目標	目標 基準年 2021年 99.0%減	実績 108.1%	達成状況 △	目標・計画の達成・実施状況の評価 わずか(9.1%)であるが 達成できなかった。 エア コン(冷房)の設定温度を 適切に行う。	環境経営目標	次年度の方向 強化	次年度目標 基準年 2021年 98.5%	事務部
		活動 計画	内容		実施状況		環境経営計画	取組内容番号	次年度の方向	
			① 不用時の消灯		◎			①	継続	
	② 機械設備・OA機器などのス イッチオフ		②	継続						
	③ エアコンの温度管理(夏季 28℃±1℃)			③	継続					
	ガソリン消 費量の削減 (単位:L)	数値 目標	目標 基準年 2021年 99.0%減	実績 99.1%	達成状況 △	目標・計画の達成・実施状況の評価 未達成ではあったが、わず か(0.1%)であり是正措 置の検討にはいたらなかっ た。 今後とも環境に 配慮した稼働を行っていく	環境経営目標	次年度の方向 強化	次年度目標 基準年 2021年 98.5%	事務部
		活動 計画	内容		実施状況		環境経営計画	取組内容番号	次年度の方向	
			① 不要積載物の有無、タイヤ 空気圧の確認		◎			①	継続	
	② 暖機運転・アイドリングスト ップ		②	継続						
	③ 環境に配慮した稼働			③	継続					
	軽油消費量 の削減 (単位:L) 建設現場	数値 目標	目標 基準年 2021年 99.0%減	実績 21.5%	達成状況 ○	目標・計画の達成・実施状況の評価	環境経営目標	次年度の方向 強化	次年度目標 基準年 2021年 98.5%	工事部
		活動 計画	内容		実施状況		環境経営計画	取組内容番号	次年度の方向	
① 不要積載物の有無、タイヤ 空気圧の確認			◎	①	継続					
② 暖機運転・アイドリングスト ップ				②	継続					
③ 環境に配慮した稼働			③	継続						
灯油消費量 の削減 (単位:L)	数値 目標	目標 基準年 2021年 99.0%減	実績 69.6%	達成状況 ○	目標・計画の達成・実施状況の評価	環境経営目標	次年度の方向 強化	次年度目標 基準年 2021年 98.5%	工事部	
	活動 計画	内容		実施状況		環境経営計画	取組内容番号	次年度の方向		
		① ストップの温度管理(冬季2 0℃±1℃)		◎			①	継続		
建設現場の 廃棄に関し て、分別を 積極的に実 施すること により建設 リサイクル を推進しま す。		建設混合廃 棄物の分別 の推進 (単位:排 出率:%/年) 建設現場	数値 目標	目標 3.00%以下	実績 0.33%		達成状況 ○	目標・計画の達成・実施状況の評価 十分な分別ができた。	環境経営目標	次年度の方向 維持
	活動 計画		内容		実施状況	環境経営計画	取組内容番号		次年度の方向	
			① 使用済みコピー用紙を再利 用する。		◎		①		継続	
② 無駄な資機材を購入しな い。		②	継続							
③ 廃棄物を分別し、リユース ・リサイクルを徹底する。(廃品回 収への協力や回収業者に持ち 込む。)			③	継続						
建設現場から 排水する水 の汚染、汚 濁を防止し 、事業所 での節水に 努め、水 の使用量を 削減しま す。	事務所利用 水の節水 (単位:㎡)	数値 目標	目標 基準年 2021年 99.0%減	実績 94.5%	達成状況 ○	目標・計画の達成・実施状況の評価 月ごとの変動はあるが、目 標達成できた。今後とも節 水に努める。	環境経営目標	次年度の方向 強化	次年度目標 基準年 2021年 98.5%	工事部
		活動 計画	内容		実施状況		環境経営計画	取組内容番号	次年度の方向	
			① 洗車の水使用量を減らす。		◎			①	継続	
	② 水を流しながらの洗い物は しない。		②	継続						
	オイル吸着 材の設置等 の適正管理 建設現場	数値 目標	目標 12回以上	実績 36回	達成状況 ○	目標・計画の達成・実施状況の評価 点検日を決めてチェックす る様にし、目標達成出来て いる。次年度もこの状況の維持に 努める。	環境経営目標	次年度の方向 維持	次年度目標 12回	
		活動 計画	内容		実施状況		環境経営計画	取組内容番号	次年度の方向	
① オイル吸着材の設置			◎	①	継続					
② 濁水発生の点検				②	継続					
施工で使用する 有害な化学 物質の使用 をしないよう 努めます。	化学物質の有害性の確認 建設現場	数値 目標	目標 12回以上	実績 24回	達成状況 ○	目標・計画の達成・実施状況の評価 油類を化学物質ととらえ、 漏洩防止の管理を徹底でき た。次年度もこの状況の維持に 努める。	環境経営目標	次年度の方向 維持	次年度目標 12回	工事部
		活動 計画	内容		実施状況		環境経営計画	取組内容番号	次年度の方向	
			① 化学物質の有害性の確認		◎			①	継続	
環境に配慮した 施工を推進 します。	環境配慮施工の 拡大 建設現場		数値 目標	目標 30件以上	実績 32件	達成状況 ○		目標・計画の達成・実施状況の評価 目標達成できた。 次年度もこの状況の維持に 努める。	環境経営目標	次年度の方向 維持
		活動 計画	内容		実施状況	環境経営計画	取組内容番号		次年度の方向	
			① 超低騒音型・排出ガス対策 型重機を使用し、環境配慮施工 を増やす。		◎		①		継続	
環境活動の 社会貢献を 推進しま す。	地域の美化 活動に参加 する。		数値 目標	目標 12回以上	実績 12回		達成状況 ○	目標・計画の達成・実施状況の評価 計画的に活動出来た。	環境経営目標	次年度の方向 維持
		活動 計画	内容		実施状況	環境経営計画	取組内容番号		次年度の方向	
			① 美知メセナ活動に参加する。		◎		①		継続	

数値目標 ○:達成している。△:未達で継続すると問題の可能性がある。×:未達で改善の必要がある。

活動計画 ◎:成果につながり良くできており、取組がうまくいっている。△:取組に問題の可能性がある。
×:できていない(改善の必要がある)

環境取組



清掃活動



樹木選定、草刈り活動



防災訓練



完了

5 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

環境関連法規への違反、訴訟はありません。又、過去3年間に関係当局からの違反等の指摘はありません。

適用される法規制等と遵守状況		
法規制等の名称	該当する要求事項	遵守評価
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の管理、排出	適正処理
建設リサイクル法	建設副産物の管理、排出	適正処理
騒音規制法	対象特定建設作業の実施届出、規制値の遵守	該当工事なし
振動規制法	対象特定建設作業の実施届出、規制値の遵守	該当工事なし
消防法	対象危険物保管の届出	遵守
建設副産物適正処理推進要綱	計画書及び実施書の作成及び報告	遵守
排出ガス対策型建設機械指定制度	対象工事での適正使用	適正使用
低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程	対象工事での適正使用	適正使用
フロロ排出抑制法	第1種特定製品の簡易点検	遵守
地域ごみ出しルール	一般廃棄物の分別、収集、排出	適正処理
注:適用される法規制等と遵守状況は、環境関連法規等の遵守状況のチェック結果に基づき記載します。		

6 代表者による全体の評価と見直し・指示

[目標の達成状況] [活動計画実施状況]	
評価結果及び指示内容: 事業活動において、分別・リサイクルについては現場ごとで分別を行った。軽油、灯油については達成できた。CO2削減目標についても達成できた。 これは、全員の日頃の環境取組の成果であると評価する。 目標達成できなかった電力・ガソリンについては、「エアコンの温度管理」や「アイドリングストップ」などの環境経営計画書に掲げる目標達成手段に取組み、環境に配慮した活動を行っていく。	
[環境経営システムの実施体制等]	
評価結果及び指示内容:取組が意識定着に繋がってきている。現体制を維持し、この状況の維持に務めること。	
[環境関連法規等の遵守状況]	
評価結果及び指示内容:特に大きな問題もなく、遵守できている。この状況の維持に務めること。	
[利害関係者の苦情・要望事項]	
評価結果及び指示内容:良好であり、この状況の維持に務めること。	
方針の変更の必要性	☐ 有 ☒ 無
目標の変更の必要性	☐ 有 ☒ 無
経営計画の変更の必要性	☐ 有 ☒ 無
実施体制変更の必要性	☐ 有 ☒ 無